



## 平成28年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年10月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ハブ

コード番号 3030 URL <http://www.pub-hub.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 太田 剛

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長兼財務経理部長 (氏名) 桑山 司

TEL 03-3526-8682

四半期報告書提出予定日 平成27年10月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年2月期第2四半期の業績(平成27年3月1日～平成27年8月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第2四半期	4,726	1.8	379	△5.5	378	△5.4	230	△2.2
27年2月期第2四半期	4,642	8.6	402	△7.7	400	△9.3	235	△11.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第2四半期	61.43	—
27年2月期第2四半期	62.81	—

(注)当社は、平成27年3月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。これに伴い、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年2月期第2四半期	4,783	2,879	60.2
27年2月期	4,695	2,753	58.7

(参考)自己資本 28年2月期第2四半期 2,879百万円 27年2月期 2,753百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	0.00	—	84.00	84.00
28年2月期	—	0.00	—	—	—
28年2月期(予想)	—	—	—	28.00	28.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

当社は、平成27年3月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。平成27年2月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

### 3. 平成28年2月期の業績予想(平成27年3月1日～平成28年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,400	2.5	695	5.5	690	5.3	410	7.6	109.20

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年2月期2Q	3,755,100 株	27年2月期	3,755,100 株
② 期末自己株式数	28年2月期2Q	605 株	27年2月期	513 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年2月期2Q	3,754,550 株	27年2月期2Q	3,754,769 株

(注) 当社は、平成27年3月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。これに伴い、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来予測に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢に改善がみられることにより回復傾向にありますが、円安に伴う物価上昇等により消費者の節約志向は継続し、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、原材料価格や人件費の上昇に加え、同業態間はもとより他業種・他業態との顧客獲得競争が激化するなど、経営環境は依然として厳しいものとなっております。

このような状況のもと、当社は2014年度から2016年度を「足場固めの3年間」と定め、昨年度より、目前に控えた100店舗体制を支える強い企業基盤の構築を目指し「中期経営計画(2014年～2016年)」の実現に努めてまいりました。その2年目となる当事業年度におきましては、経営方針を「人」と定め、個々のスキルアップを推進しそれらを結集することで大きな力を生み出すことにより「人材の獲得」「既存店の改装・改修の実施」「メニュー価値創造」を骨子とした施策を展開しております。

また、本部での集合研修によるクルー(アルバイト)教育や衛生管理の強化といったQ・S・C・Aの磨き上げの徹底、季節感ある商品の積極的なおすすめ販売により、お客様との距離を縮め楽しい雰囲気醸成する取り組みなどが奏功し、業績は堅調に推移しております。しかしながら既存店の売上高対前年比につきましては、イベント等の影響による昨年度の好結果には及ばず98.2%となり、客数につきましては100.4%となりました。

店舗につきましては、HUBブランド4店舗(梅田茶屋町アプローチ、新横浜、渋谷道玄坂、名駅四丁目)を出店し、当第2四半期末現在における店舗数は88店舗(休業中店舗除く)となりました。

これらの結果、当第2四半期累計期間の売上高は4,726百万円(前年同期比1.8%増)、営業利益は379百万円(前年同期比5.5%減)、経常利益は378百万円(前年同期比5.4%減)、四半期純利益は230百万円(前年同期比2.2%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べて88百万円増加し、4,783百万円となりました。

流動資産は前事業年度末に比べて14百万円減少し、2,002百万円となりました。これは主に現金及び預金が減少したことによるものであります。

固定資産は前事業年度末に比べて102百万円増加し、2,781百万円となりました。これは主に新規出店に伴う有形固定資産が増加したことによるものであります。

負債は前事業年度末に比べて36百万円減少し、1,904百万円となりました。これは主に買掛金及び未払費用が増加したものの、未払金が減少したことによるものであります。

純資産は前事業年度末に比べて125百万円増加し、2,879百万円となりました。これは配当金の支払により105百万円減少したものの、四半期純利益230百万円を計上したことによるものであります。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前事業年度末に比べて49百万円減少し、1,594百万円となりました。それぞれの詳細は以下のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、349百万円(前年同期比250百万円の減少)となりました。

主な要因は、税引前四半期純利益が371百万円、減価償却費が161百万円となった一方で、未払金の減少額が139百万円、法人税等の支払額が141百万円あったことによるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、213百万円(前年同期比83百万円の増加)となりました。

主な要因は、差入保証金の回収による収入が25百万円あった一方で、有形固定資産の取得による支出が182百万円及び差入保証金の差入による支出が31百万円あったことによるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、185百万円(前年同期比10百万円の減少)となりました。

主な要因は、長期借入金の返済による支出が64百万円、割賦債務の返済による支出が53百万円及び配当金の支払額が105百万円となった一方で、長期借入れによる収入が60百万円あったことによるものであります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年2月期の通期業績予想につきましては、平成27年4月10日発表の決算短信で開示した予想数値に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
  
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成27年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,644,048	1,594,366
売掛金	21,772	26,642
原材料及び貯蔵品	53,091	72,523
その他	297,604	308,926
流動資産合計	2,016,517	2,002,459
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,338,994	1,430,482
その他(純額)	228,147	246,225
有形固定資産合計	1,567,141	1,676,708
無形固定資産	36,521	30,038
投資その他の資産		
差入保証金	944,756	950,906
その他	130,306	123,705
投資その他の資産合計	1,075,063	1,074,612
固定資産合計	2,678,726	2,781,359
資産合計	4,695,244	4,783,818
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	207,538	262,409
1年内返済予定の長期借入金	122,000	111,500
未払金	424,523	302,238
未払法人税等	156,500	147,000
賞与引当金	144,064	123,973
その他	320,781	413,302
流動負債合計	1,375,407	1,360,423
固定負債		
長期借入金	200,500	207,000
リース債務	80,066	88,655
長期未払金	144,600	102,099
資産除去債務	140,893	146,522
固定負債合計	566,059	544,276
負債合計	1,941,467	1,904,700
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	631,793	631,793
資本剰余金	195,393	195,393
利益剰余金	1,927,381	2,052,905
自己株式	△791	△974
株主資本合計	2,753,776	2,879,118
純資産合計	2,753,776	2,879,118
負債純資産合計	4,695,244	4,783,818

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)
売上高	4,642,659	4,726,012
売上原価	1,276,212	1,265,352
売上総利益	3,366,446	3,460,660
その他の営業収入	22,697	26,271
営業総利益	3,389,144	3,486,932
販売費及び一般管理費	2,987,134	3,107,094
営業利益	402,010	379,838
営業外収益		
受取利息	232	228
雑収入	1,503	2,035
営業外収益合計	1,736	2,264
営業外費用		
支払利息	3,457	3,513
営業外費用合計	3,457	3,513
経常利益	400,288	378,588
特別損失		
固定資産除却損	3,784	6,780
特別損失合計	3,784	6,780
税引前四半期純利益	396,504	371,807
法人税、住民税及び事業税	153,848	131,121
法人税等調整額	6,807	10,034
法人税等合計	160,656	141,155
四半期純利益	235,848	230,652

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	396,504	371,807
減価償却費	168,490	161,613
賞与引当金の増減額(△は減少)	△11,843	△20,091
受取利息	△232	△228
支払利息	3,457	3,513
固定資産除却損	3,784	6,780
売上債権の増減額(△は増加)	△8,880	△4,869
たな卸資産の増減額(△は増加)	△6,895	△19,432
仕入債務の増減額(△は減少)	61,618	54,870
未払金の増減額(△は減少)	111,737	△139,487
その他	8,133	79,603
小計	725,872	494,079
利息の受取額	221	228
利息の支払額	△3,513	△3,440
法人税等の支払額	△123,226	△141,574
営業活動によるキャッシュ・フロー	599,353	349,293
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△131,402	△182,782
無形固定資産の取得による支出	-	△8,466
差入保証金の回収による収入	33,601	25,700
差入保証金の差入による支出	△24,163	△31,850
長期前払費用の取得による支出	△8,594	△17,295
長期貸付金の回収による収入	1,075	1,290
投資活動によるキャッシュ・フロー	△129,483	△213,404
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	60,000	60,000
長期借入金の返済による支出	△59,000	△64,000
リース債務の返済による支出	△22,183	△22,625
割賦債務の返済による支出	△69,365	△53,634
自己株式の取得による支出	△263	△182
配当金の支払額	△105,135	△105,128
財務活動によるキャッシュ・フロー	△195,948	△185,570
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	273,921	△49,682
現金及び現金同等物の期首残高	1,303,640	1,644,048
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,577,562	1,594,366

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。